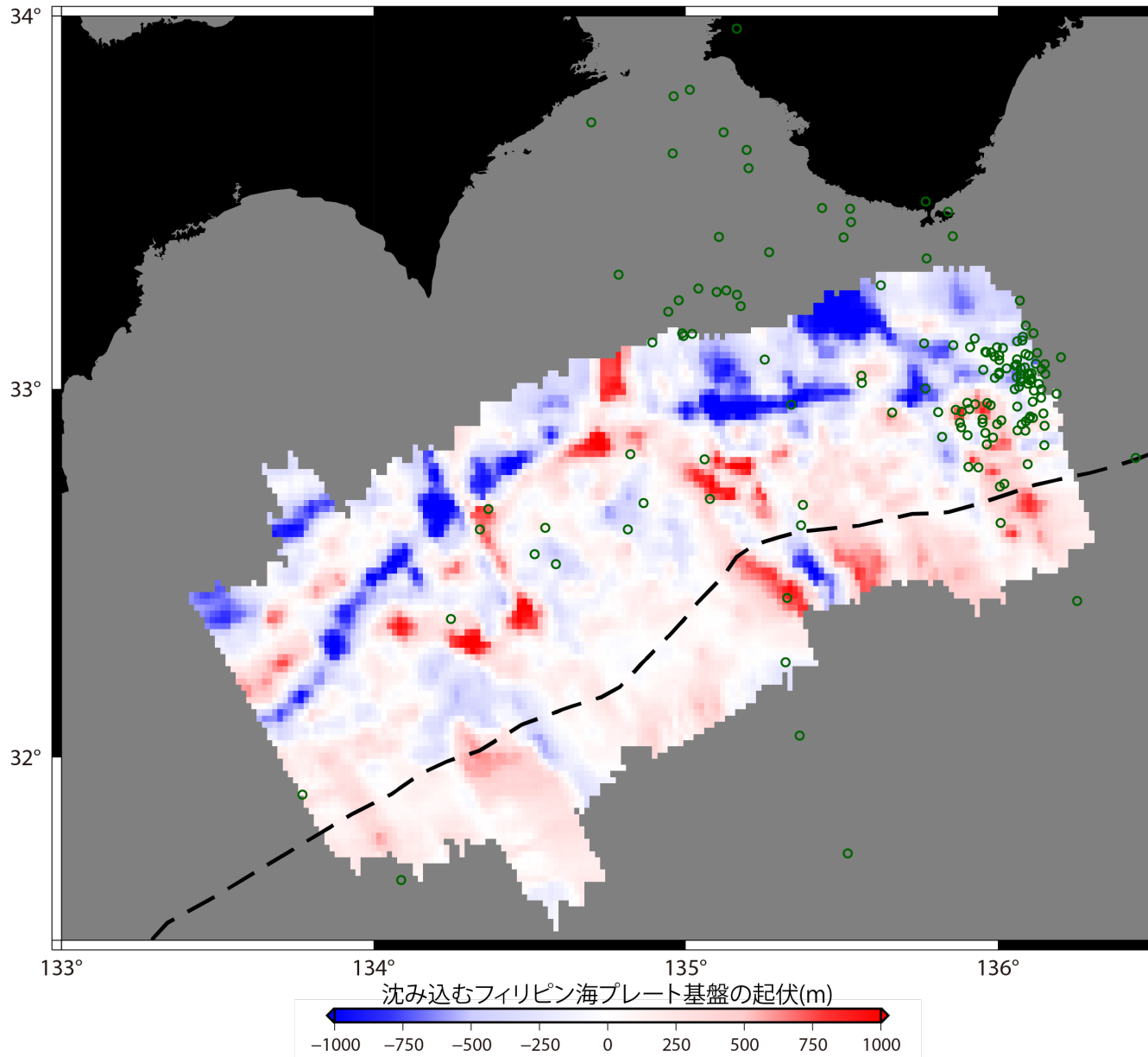


# フィリピン海プレート形状と微動震央分布との関係

南海トラフ孔内(間隙水圧)観測による  
浅部ゆっくりすべりモニタリング

令和6年(2024年)8月7日  
国立研究開発法人 海洋研究開発機構





## PHS基盤形状と微動分布

カラースケール: 基盤深度の起伏

青: 局所的に深い (or 上盤が低速度)

赤: 局所的に浅い、海山など

Nakamura et al. (2022 GRL)

<https://doi.org/10.1029/2022GL098180>

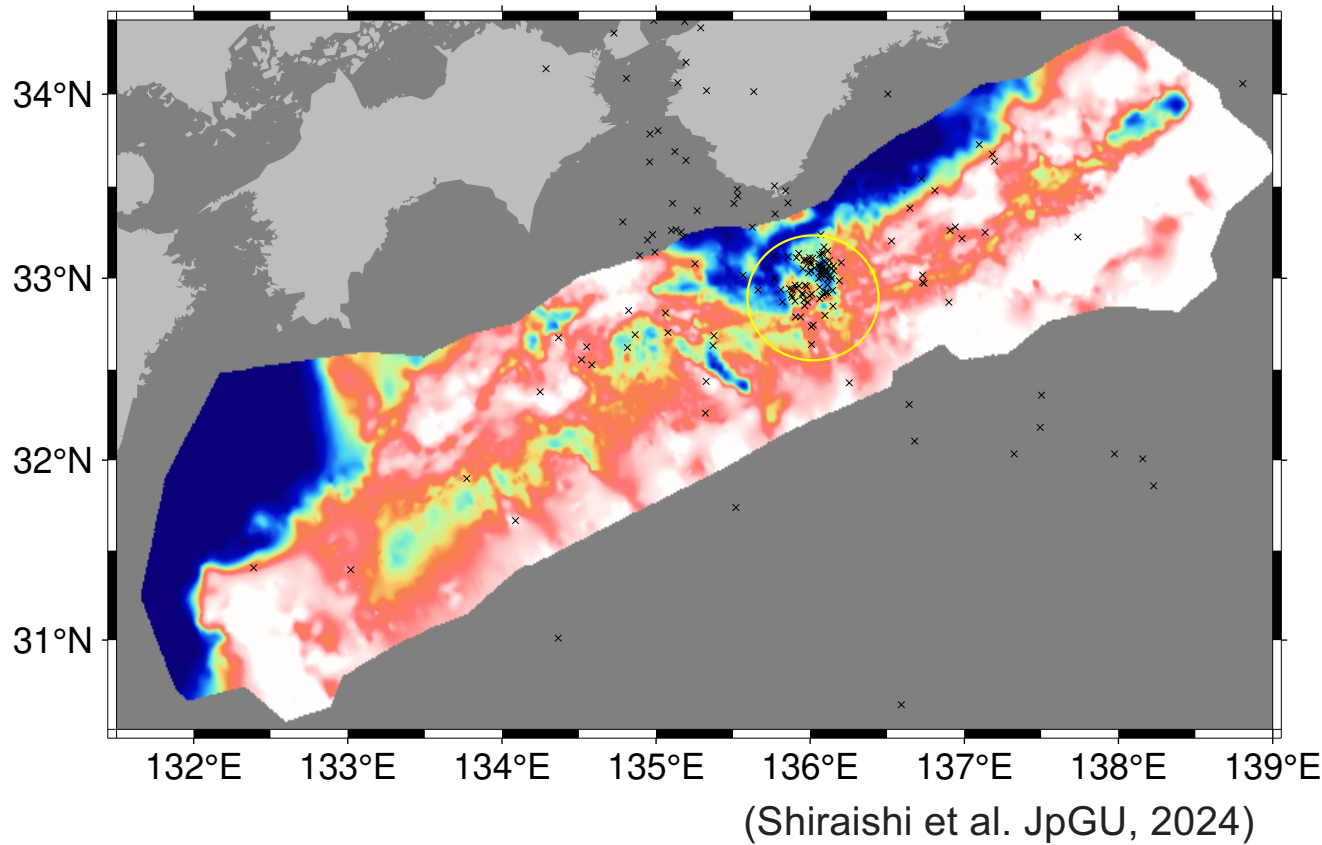
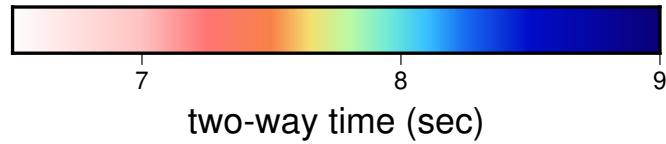
○: 微動の震央 (7/20-26)

基盤深度の起伏が見られる場所に分布

※基盤深度の起伏

稠密な反射法データでイメージングしたPHSプレート基盤の形状とその平滑化した形状の差分

PHS基盤までの往復走時と微動の空間分布



- カラースケール: 海面から PHS基盤までの往復走時
- x: 微動の震央分布 (7/20-26)
- 断層深度(往復走時)の急変部に微動が分布(前ページと同様)。
- 広域的には古銭洲海嶺と土佐ばえに挟まれたPHS基盤が相対的に深い場所の周辺に微動が分布

※Shiraishi et al. JpGU, 2024に今年度実施する調査の結果も加えたうえで、プレート境界断層モデル(往復走時)の最新成果として今年度中に論文として公表する計画